

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会
開 催 日 時	平成27年8月20日（木） 16時00分から17時40分まで
開 催 場 所	枚方市市民会館 第6集会室
出 席 者	座長：新川委員 委員：榮野委員、嶋田委員、田中委員、谷本委員、津本委員、原田委員、 宮原委員、森岡委員
欠 席 者	橋本委員
案 件 名	1. まち・ひと・しごと創生総合戦略（試案）について
提出された資料等の 名 称	資料1 まち・ひと・しごと創生総合戦略（試案） 参考資料1 枚方市人口の現状 参考資料2 まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子）に対する意見一覧
決 定 事 項	枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略（試案）について、委員の意見を踏まえ、資料を整理した上で市議会へ中間報告していくこととした。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	4人
所 管 部 署 （ 事 務 局 ）	政策企画部 都市戦略室 政策企画課

1. 案件1「まち・ひと・しごと創生総合戦略（試案）について」

（資料1 まち・ひと・しごと創生総合戦略（試案）に基づき、事務局から説明）

●質疑・意見交換

○新川座長 総合戦略（試案）について、全体の枠組み、もしくは今後の総合戦略の策定に向けて、試案よりも一歩踏み込んだ具体的な事業手法などについてもご意見をいただければと思う。

○原田委員 参考資料1に関連して、枚方市の転入・転出数について、市内のエリア別での状況が分かれると、枚方の全体を見る上でより分かりやすいのではないかな。

○事務局 市内のエリア別の状況については、別途、資料として整理した上で提供させていただく。

○津本委員 基本目標1「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標2「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」の（3）に空き家の発生抑制と書かれてあり、全国的に空き家が増加傾向にあるときいているが、枚方市における空き家の割合は把握しているか。また、既に空き家となっている場合、所有者との接触が難しい場合もあり、空き家にならないための対策が必要である。

○事務局 後日に改めて情報提供させていただく。

○谷本委員 総合戦略の構成で、基本目標と数値目標との関係が分かりづらい。また、基本目標と柱という言葉が使われているが、内容が同じで分かりにくいので、言葉の整理をしたほうがよいのではないかな。また総合戦略全体として、人口ビジョンで示す将来展望に近づけるということが示されているだけであり、国の示す出生率をめざすことや枚方市に住みたいと思わせるような目標設定が明確にされていないと感じるので、明確にしていくべきだと思う。

○事務局 将来展望で示す人口により近づけるようまちづくりを進める必要があり、基本目標1から3の目標を達成するために、各施策を進めていくことが重要と考えている。また、数値目標は、進行管理のための指標であると考えている。

○宮原委員 基本目標1「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標1「安全で快適な交通環境が整うまち」の（2）に書かれてある広域幹線道路の整備に向けた具体的な施策で、「新名神高速道路やアクセス道路などの整備に向けた国・大阪府への働きかけ」となっているが、「国・大阪府への働きかけによる新名神高速道路やアクセス道路などの整備」など、もう少し積極的な表現にできないかな。

○津本委員 総合戦略に記載されているすべての施策について取り組んでいくという考えか。

○事務局 総合戦略に記載する全ての基本目標の達成に向けて、総合的に取り組みを進めていきたい。

○田中委員 枚方の印象として、若者が多いこと、交通の便が悪いところが特徴だと思う。今後、人口減少が進む中では、若い人が入ってくるまちづくりは大事だと思う。ハード面で重要なのは、枚方市駅前の再開発だと考える。ツタヤの新たなビルが建設されているが、ツタヤは枚方が発祥と知らない人も多い。まちのブランドイメージとして知名度をあげていってはどうかな。ソフト面では他にも、サッカーなどスポーツが強いまちというブランドイメージはこどもが集まりやすいのではないかな。

○宮原委員 枚方市は40万の人口を抱える都市であるにも関わらず、ホテルがない。スポーツ施設はあるものの合宿できるような施設がない。宿泊施設があつてはじめて他府県から多くの人を訪れると思う。大きな会合ができる施設もなく、人が集う場所を枚方市に確保すべきだと考える。

○原田委員 施策目標ごとに、取り組みの効果として、他市からの転入を促進するものなのか、出生率を高めるものなのか、高齢化への対策のかなどを記載し、人口減少対策にどう貢献するのかを明らかにしたほうが分かりやすいのではないかと。

○事務局 複数の項目に該当する施策もあると考えられるが、表記について、検討させていただく。

○新川座長 何が問題となっているかを取り違えることのないよう、しっかり分析を行っていただく必要がある。

○谷本委員 子育てのしやすさや医療が充実していることなど、強みを打ち出しながら取り組みを推進していくべきである。5年間という限られた期間の中で、市の抱える課題解決につながるような、特に重点的に進める施策を打ち出していければ、特徴ある戦略になるのではないかと。

○宮原委員 ふるさと納税をしてくれた人に対する返礼品として、枚方らしさを感じられるものを用意することで、枚方市を知ってもらい、住んでもらうきっかけになるのではないかと。

○事務局 本市では、本来の寄附の考え方に基づき、寄附者に対する返礼品は出していないが、一つの検討課題として考えている。

○谷本委員 打ち出していくブランドをこれからつくってしまうのもよいと思う。外から見たイメージとしては、枚方市は福祉の充実したまちというのがある。この機会に、戦略の中で打ち出していけば特徴あるものになるのではないかと。

○森岡委員 他市と同じようなことに取り組んでいるだけでは特徴がないと思う。例えば、セキュリティカメラの設置による子どもの安全など、より特徴を伸ばし、発信していくべきだと考える。

○新川座長 従来から掲げている都市ブランドに加え、次にどういう魅力を発信し、多くの方に賛同していただくかをしっかりと考えていく必要があると考える。

○原田委員 人が生活するうえで、住宅というのは大きなウエイトを占める。住宅のデザインなどに魅力があれば、若者が住みたいと思うし、高齢者も快適に暮らすことができる。枚方市は住宅都市という割に魅力がないと思うので、住宅の魅力化を図るべきである。

○田中委員 枚方宿は一つのキーポイントになると思っているが、まだ十分に知られていないように思う。もっと積極的にPRしていくべきである。

○嶋田委員 地域の住民どうしのつながりを生み出すため、住民共通で取り組めるものがあればと思う。例えば、岸和田のだんじりや伊丹市のビューティフルサンデーなどがあげられるが、それが盛り上がり得ればブランドになり得る。河内音頭は枚方発祥という説もあり、東京で開催されている河内音頭の大会は、動員数が多い。ブランドとなり得るものを探せばあるのではないかと。

2. その他

○事務局 本日いただいたご意見のうち、試案に反映すべきものについては、事務局で修正案を作成したうえ、委員の皆様にご確認いただきたいと考えている。ついては、本日の配布資料等に関してのご意見は、8月27日の木曜日までに事務局までご連絡いただきたい。また、引き続き、総合戦略の策定に向けて、具体的な取り組みなどについてご意見をいただける場合は、9月30日の水曜日までに、電話やメールなどで、事務局までご連絡いただきたい。必要に応じてお伺いさせていただきたいと考えている。また、本日の会議録については、事務局で案を作成のうえ、委員の皆様にご確認いただき、その結果を座長と調整させていただき決定したものを、ホームページで公表していきたいと考えている。なお、次回の意見聴取会については、10月以降の開催を予定しているが、後日に改めて、日程調整のご連絡をさせていただく。

○新川座長 本日の意見を踏まえ修正した試案を9月議会へ中間報告し、いただいた議会からの意見も踏まえ、10月以降に第3回意見聴取会を開催し、最終的には年明けの意見聴取会で取りまとめを終えたいと考えている。今後の進め方について、各委員からご意見等ないか。

○委員一同 異議なし